

事業概要シート

施策 1701 計画的な土地利用と都市拠点 機能の充実 <>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

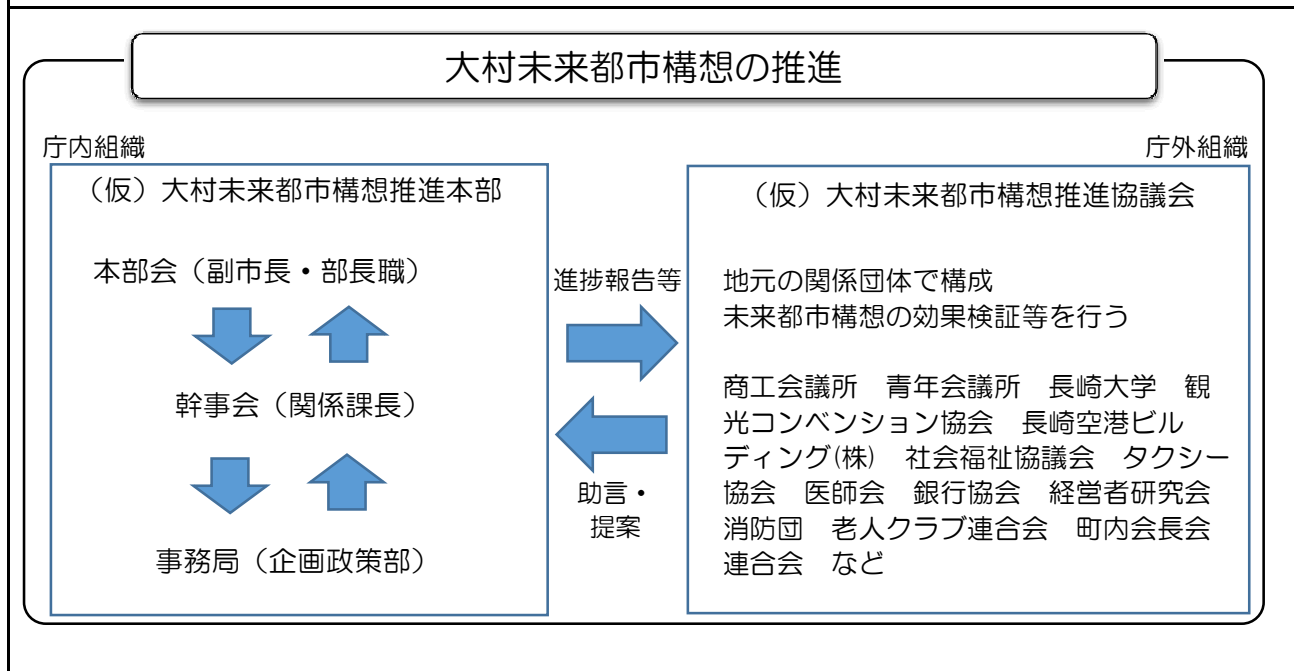
事業名	デジタル活用推進事業	その他の見直し	予算額	6,505 千円
事業期間	令和3年度 ~			<< 12,743 >>千円
根拠法令要綱等			財源内訳	
			国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	6,505 千円

【事業の目的・概要・対象】

(目的)
 日常生活において感じる課題や「こうなったらいいな」という思いをデジタル技術を活用して解決し、便利で快適な環境をつくり、市民が幸せを実感して生活できるような社会を実現する。

(概要)
 大村未来都市構想を推進するためには、広く市民や関係団体から意見を聴取し、実状に沿った地域独自の取組を行うとともに、事業の効果検証を踏まえ、より効果的な取組を行う必要がある。このため、有識者等で構成する「(仮)大村未来都市構想推進協議会」を設置し、意見聴取や効果検証を行う。また、外部人材の助言を受けながら、大村未来都市構想やDX推進計画の積極的な推進を図る。
 また、

(対象)
 市民



【背景】

国においては、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する Society5.0を提唱しており、本市においても、先端技術を活用し、本市の抱える地域課題を解決し、市民生活に快適性や利便性などの新たな価値を創出するまちづくりが求められている。
 このような背景のもと、本市が目指す未来像について、基本的な考え方や方向性を定めた「大村未来都市構想」の推進を図る。

担当課	企画政策部企画政策課	参事	山口 理行
担当者	坂口 恵蔵	問合せ先	0957-53-4111 (内215)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R1 (実績)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)
①	(仮) 大村未来都市構想推進協議会の開催回数	回	-	-	2	2	2
②							

【成果指標】

指標名		単位	R1 (実績)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)
①							
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	0	0	12,743	6,505	6,505	6,505	32,258
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	12,743	6,505	6,505	6,505	32,258
人件費	0	0	14,744	14,744	14,744	14,744	58,976
職員(人)	0.00人	0.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	8.00人
時間外勤務(h)	0h	0h	100h	100h	100h	100h	400h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	0	0	27,487	21,249	21,249	21,249	91,234

妥当性 (市の関与)	本市の抱える地域課題を解決し、市民生活に快適性や利便性などの新たな価値を創出するためには、行政が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	本市が目指す未来像について、基本的な考え方や方向性を定め、今後の施策や取組などを調査・検討をすることは、上位施策である「コンパクトで暮らしやすいまちづくり」の達成のため手段として効果がある。
効率性 (コスト)	必要最小限の費用で事業を行うため、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり